

2023年11月20日

報道関係各位

GMO インターネットグループ

**生成 AI 活用により 9 万 6,000 時間/月、
国内パートナー数の 10%にあたる 600 人月相当の業務時間を創出
～「AI 活用 No.1 企業グループ」に向けて調査を実施～**

“すべての人にインターネット”を合言葉に、インフラ、広告、金融、暗号資産事業を展開する GMO インターネットグループ（グループ代表：熊谷 正寿）は、「AI 活用 No.1 企業グループ」を目指し、グループを挙げて生成 AI の活用を進めた結果、**約 9 万 6,000 時間**、国内パートナー（従業員）数の約 10%にあたる **600 人月**に相当する業務時間を創出しました。^{(※1) (※2)}

GMO インターネットグループでは、2023 年 4 月に「AI（愛）しあおうぜ!プロジェクト」を立ち上げ、様々な施策を通じてグループ全パートナーの AI 活用による生産性向上や、既存サービスへの AI 機能実装、AI 産業への新サービス提供を進めています。今回、プロジェクトの一環として、国内のパートナーを対象に ChatGPT など生成 AI の活用実態を調査しました。

GMO インターネットグループは、すべてのパートナーが AI を活用できる人財となるべく、引き続き積極的な AI 活用の取り組みを進めてまいります。そして、AI 活用により創出した時間でパートナーが既存サービスにさらなる付加価値を生み出し、AI を活用した各種プロダクトやサービスを開発することで、すべての人の「笑顔」と「感動」につなげてまいります。

【GMO インターネットグループの生成 AI 活用調査結果】

■ 調査概要

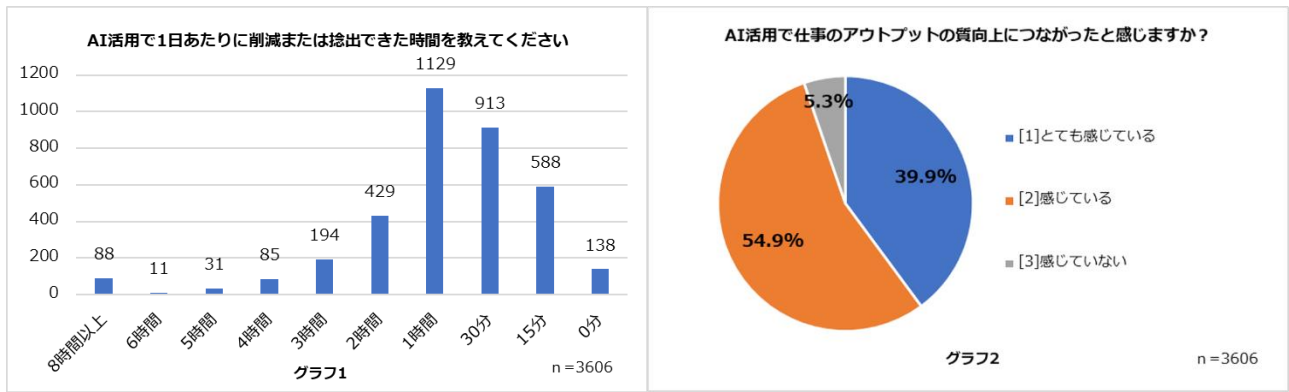
2023 年 11 月 1 日（水）から 10 日（金）にかけて、GMO インターネットグループの国内パートナー（正社員、派遣社員、アルバイト）5,877 人を対象に（有効回答 5,437 人）アンケートを実施しました。

■ 調査結果・分析サマリ

- 71%のパートナーが、「業務において“AI”を活用している」と回答した。また、66%（3,606 人）が「“生成 AI”を業務に活用している」と回答した。
- 生成 AI を業務に活用していると回答したパートナーの **96%が生成 AI の活用により 15 分/日以上**の業務時間を創出したと回答した。1 時間/日を創出したパートナーが 31%と最も多かった。（グラフ 1）
- 国内パートナーの 66%が生成 AI を活用したことにより、ひと月あたり**約 9 万 6,000 時間**、国内パートナー数の約 10%にあたる **600 人相当の業務時間を創出した**。
- 生成 AI を業務に活用しているパートナーのうち、**95%が「生成 AI 活用で仕事のアウトプットの質向上につながっている」**と感じている。（グラフ 2）

(※1) 国内全パートナーの 66%にあたる 3898 人が生成 AI を活用していると仮定し算出。

(※2) ひと月労働時間は（1 日の勤務時間 8 時間）×（平均の営業日 20 日）=160 時間で算出。



■ AI 活用により業務時間創出につながった例 (※3) (カッコ内は創出時間)

- メール文面の土台の作成など (10 時間/月)
- 英文メールの添削、ニュアンス確認など (30 分/通)
- トークスクリプトのアイデアだしや、アイデアをもとにしたアウトラインの作成 (10 時間/月)
- コンテンツマーケティング用の記事の作成や誤字脱字チェックなど (2 時間/記事)
- ランディングページのペルソナ設定や構成案の作成 (2 時間/件)
- 電話窓口の重複入電数、ユニークユーザー数のカウント (25 分/回)
- 社内アンケートの自由記述欄の定性分析や要約 (3 時間/回)
- 生成 AI に仕様を伝えてコーディング、またリファクタリングの実施 (それぞれ 1 時間/月)

(※3) ChatGPT など生成 AI の活用においては、グループ各社で利用規定を策定・順守した上で、非開示情報や個人情報の入力、著作権侵害等に配慮して業務を実施しております。

■ AI 活用を行うパートナーの声

エンジニア

「GitHub copilot」による開発補助や、コードの書き始めに ChatGPT を利用し、月 15 時間の作業時間を削減できています。

広告ディレクター

今まで 10 時間以上かかっていた大量のユーザーコメントの傾向・感情分析を自動で行えるようになりました。

管理

目視で行っていた社内アンケートの自由記述欄の定性分析が自動でできるようになりました。他の業務と同時並行してできるようになったため、効率が格段に向上しました。

カスタマーサポート

対応進捗確認にスプレッドシートを使い、ChatGPT で関数を最適化することで、手作業によるデータの転記・集計が簡素化できました。他の業務に時間を活用できるようになりました。

営業

DALL-E 3 を活用し、今までは 1 か月かかっていたキャラクターのモックアップが数日で確定できるようになりました。

【GMO インターネットグループで実施する AI 活用促進の例】

■①時間とコストの節約

<例>

1. 2023年4月より賞金総額1,000万円の社内公募コンテスト「AI（愛）しあおうぜ！ChatGPT 業務活用コンテスト」を実施しています。AIに関する取り組みや新サービスへつながる作品が集まっており、すでに実装されているものも多数あります。
2. AIに関する最新動向や最新ツールの理解を深める、専門家による「GMO AI セミナー」を月に最低2回開催しています。
3. NVIDIA社の最新GPU「NVIDIA H100 Tensor コア GPU」、「NVIDIA L4 Tensor コア GPU」を搭載したサーバーの無料貸出および、「GeForce RTX™ 4090」、「RTX™ 3080Ti」を搭載したノートパソコンの無料貸出を、グループパートナーに対し実施しました。
4. Slackの全パートナー参加のチャンネルではAIに関する最新情報をリアルタイムで共有しています。
5. 全パートナー受験必須のAIテスト「GMO AI パスポート」を実施しています。また、中途採用における選考でAIに関する課題を実施しています。

■②既存サービスの質向上

AIを活用した既存サービスへの機能追加による質の向上は、2023年11月時点で、**グループ106社あわせて56件**にのぼっています。生成AIによる文章や画像の生成などにより、ドメイン、ホスティング、EC、広告、メディア、セキュリティなど幅広い領域でお客様にこれまで以上に利便性の高いサービスをご提供しています。

■③AI産業への新サービス提供

AI産業を盛り上げるべくAIスタートアップの支援を始めています。また、2023年11月時点で、ホスティング、EC、メディアなどの領域で、**合計8件の新サービスの提供を開始**しています。

<例>

1. 2023年5月24日に、ハンズオン型CVC「GMO Web3株式会社」を、「GMO AI&Web3株式会社」へと社名変更しAIスタートアップ支援を拡大しています。すでに、有望なAIスタートアップへの支援を実施しています。
2. NVIDIA社のGPU「NVIDIA H100 Tensor コア GPU」「NVIDIA L4 Tensor コア GPU」を搭載したAI開発者向けのGPUホスティングサービスを開始しました。
(<https://www.gmo.jp/news/article/8677/>)
3. AI専門家とともに「GMO 教えて AI 株式会社」を設立し、生成AIプロンプトポータルサイト「教えて.AI byGMO」を開始しました。(<https://oshiete.ai/>)
4. GMOアドマーケティングによるAI活用のコンテンツ作成サービス「週刊AIプロ野球コンシェル」を提供開始しました。(<https://www.gmo.jp/news/article/8601/>)

【GMO インターネットグループについて】

GMO インターネットグループは、ドメインからセキュリティ、決済までビジネスの基盤となるサービスをご提供するインターネットインフラ事業を主軸に、インターネット広告・メディア事業、インターネット金融事業、暗号資産事業を展開する総合インターネットグループです。

また、グループ全パートナーを挙げて生成AIを活用することで、① 時間とコストの節約、② 既存サービスの質向上、③ AI産業への新サービス提供を通じ、「AI活用 No.1 企業グループ」を目指しています。

お客様に喜ばれるサービスを迅速かつ低価格で提供するために、サービスは機器の選定から設置、構築、開発、運用までを内製化することを基本方針としています。そのため、グループ 106 社に在籍する約 7,400 名のパートナーのうち、IT のモノづくりを担う開発者（エンジニア・クリエイター）が 49.8%を占めています。^(※4)

(※4) 2023 年 9 月末時点

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO インターネットグループ株式会社
グループコミュニケーション部 広報担当 青柳
TEL : 03-5456-2695 E-mail : pr@gmo.jp

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2023 GMO Internet Group, Inc. All Rights Reserved.